



強面の崩るる寝顔三尺寝

峰崎成規

三尺寝は職人が狭い場所で昼寝をすることに由来する。強面の男が三尺寝で童顔のようなやさしい顔になっているのがおかしいね。



蟻の顔よく観てみれば日本人

土屋泰山

せっせと懸命に働く姿は、まるで日本人そのものである。蟻が日本人の顔ともいえるが、没個性で働き虫の日本人の顔が蟻に似ているとも。



帰省せずオンラインにて済ますなり

井口夏子

時節がらピッタリの時事俳句。帰省子を待ちわびていた親たちの落胆の一方、子ども世代はオンラインが便利で楽だわとアッサリしたもの。



銀河系歩いて来たか天牛は

桑田愛子

「天牛」は、カミキリムシのことで中国での表記。触覚が牛の角に似ていると思ったらしい。天の牛ならば銀河系から来たのは間違いないね。



大文字火の筆順を間違える

西をさむ

京都の「五山の送り火」は五山それぞれで火の点け方が違う。「左大文字」は筆順に火を付ける。ひょっとしてあり得るかもと思わせて可笑的い。



発条仕掛けゆるみしものも時計草

工藤泰子

時計草の花はその名の通り、アナログ時計に似ている。発条(ばね)仕掛けの時計に見立て、さらにその発条のゆるみを詠んで面白い句となった。